

# 原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和7年12月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m<sup>3</sup>以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:90)
2. 調査実施時期 令和7年12月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査  
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

## 4. 企業判断指数の算出方法

[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]  
(最大値100/最小値-100)

## 5. 調査結果(回答工場数:79社 / 回答率:87.8%)

### 【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6
R7.3	<b>-19</b>	<i>-18</i>	<i>-23</i>	-	-	-
R7.6	-	<b>-15</b>	<i>-15</i>	<i>-15</i>	-	-
R7.9	-	-	<b>-12</b>	<i>-9</i>	<i>-9</i>	-
R7.12	-	-	-	<b>-25</b>	<i>-17</i>	<i>-14</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6
当年	182,138	189,101	201,480	-	-	-
(前年)	208,257	203,910	184,018	160,922	182,138	189,101
対前年比	87%	93%	109%	-	-	-

(概況)

原木在庫量は前年を上回る状況。新材が伐採期を迎えたことから、引き合いが徐々に回復しているとの声も。

(回答企業の主なコメント)

原木は不足気味/原木の入荷が悪く、今後の見通しが立てづらい状況/今後の運材次第で在庫状況が決まる/原木消費が少なく、原木在庫が増加/合板工場の買いが弱まったこともあり、在庫については過不足がない

### 【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6
R7.3	<b>-39</b>	<i>-33</i>	<i>-27</i>	-	-	-
R7.6	-	<b>-37</b>	<i>-27</i>	<i>-35</i>	-	-
R7.9	-	-	<b>-40</b>	<i>-43</i>	<i>-45</i>	-
R7.12	-	-	-	<b>-39</b>	<i>-37</i>	<i>-39</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6
当年	194,977	203,681	203,177	-	-	-
(前年)	195,992	214,229	206,088	214,997	194,977	203,681
対前年比	99%	95%	99%	-	-	-

(概況)

原木消費量は概ね前年並みの状況。建築材は見通しも含めて良くないものの、梱包材などの注文はあるとの声も。

(回答企業の主なコメント)

建築材の流通は相変わらず厳しい見通し/建築確認の遅れの影響/製品の動きは依然としてよくない/よくなる見通しなし/住宅関係はよくないが、梱包の注文はある/春に向け、仕事は選ばなければある

### 【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6
R7.3	<b>-15</b>	<i>-30</i>	<i>-28</i>	-	-	-
R7.6	-	<b>-36</b>	<i>-41</i>	<i>-37</i>	-	-
R7.9	-	-	<b>-59</b>	<i>-48</i>	<i>-26</i>	-
R7.12	-	-	-	<b>-93</b>	<i>-75</i>	<i>-59</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6
当年	198,468	185,872	151,011	-	-	-
(前年)	241,635	244,649	233,392	194,918	198,468	185,872
対前年比	82%	76%	65%	-	-	-

(概況)

引き続き原木在庫量は前年を大きく下回る状況。搬出量が増加しておらず、丸太不足を懸念する声も。

(回答企業の主なコメント)

原木の入荷は特に悪い/森林整備が長引いており、伐採が遅れている/造材業者が伐り控えをしている模様/合板工場が買いに転じたことで供給不足が発生している/合板用に港行きが増え、曲がりものが回ってくる

### 【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6
R7.3	<b>-34</b>	<i>-23</i>	<i>-26</i>	-	-	-
R7.6	-	<b>-26</b>	<i>-37</i>	<i>-27</i>	-	-
R7.9	-	-	<b>-21</b>	<i>-28</i>	<i>-36</i>	-
R7.12	-	-	-	<b>-11</b>	<i>-16</i>	<i>-26</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6
当年	179,425	188,250	191,272	-	-	-
(前年)	177,283	190,253	190,679	198,049	179,425	188,250
対前年比	101%	99%	100%	-	-	-

(概況)

原木消費量は概ね前年並みの状況。夏ごろと比較すると梱包材の受注量が増加傾向にあるとの声も。

(回答企業の主なコメント)

製品の動きは依然としてよくない/スポット案件等で受注が一時的に増加したが、本州向けの動きはよくない/受注は微増だが、生産能力が不足しており受注制限する状況/梱包材に関しては現時点で若干上向き傾向

# 道内の木材需給の見通し（令和7年12月調査分）

—令和8年2月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課  
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

**原木在庫・製品荷動き** 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

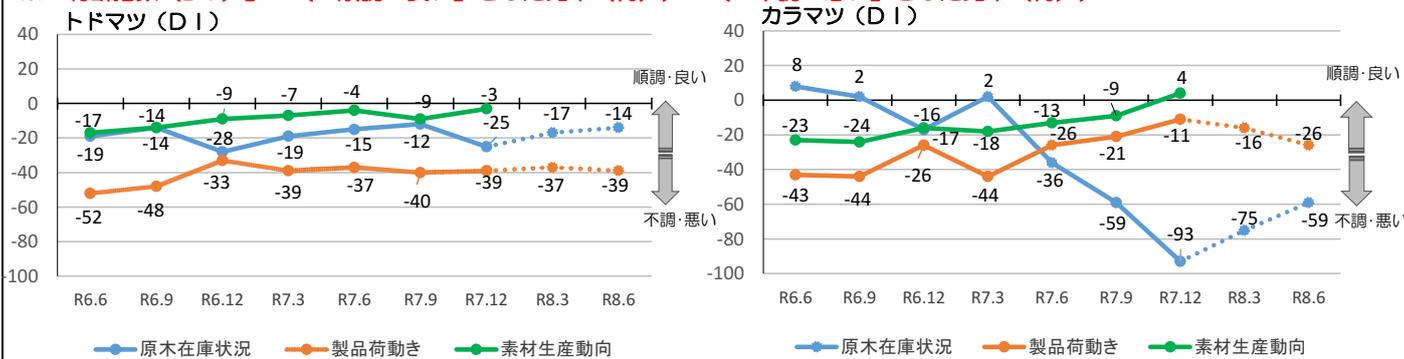
	《10~12月》	《1~3月見通し》		《凡例》 《原木在庫》
トドマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年並みとなっており、1月以降は前年を下回る見通し。	
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年並みとなっており、1月以降は前年を下回る見通し。	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を下回っており、1月以降は前年を大きく下回る見通し。	
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年並みとなっており、1月以降は前年を下回る見通し。	

**素材生産動向** 前月と比較した林業事業者の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《10~12月》	《1~3月見通し》		《凡例》
トドマツ			○素材生産動向は、「順調」11%、「並み」70%、「不調」19%となっており、並みの見通し	
カラマツ			○素材生産動向は、「順調」23%、「並み」61%、「不調」15%となっており、並みの見通し	

**素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI**  
○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数  
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

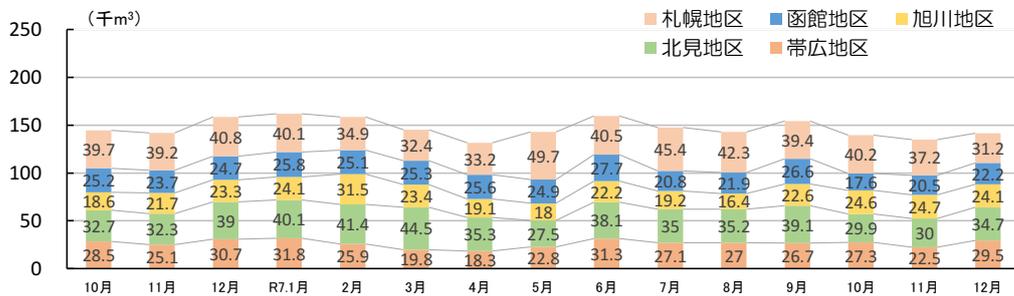


## 《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業者の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

### 素材生産量の推移

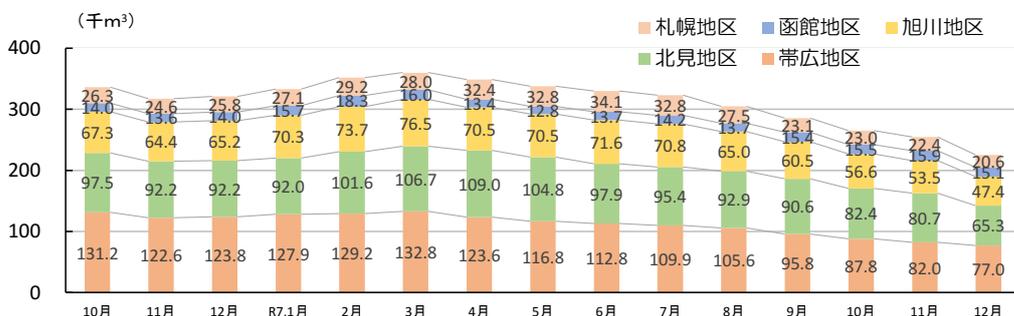
・12月の素材生産量は先月比6.8千㎡増の141.7千㎡  
・1月の素材生産量は、15.9千㎡増の157.6千㎡の見通しで、札幌地区、旭川地区、北見地区で増える見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

### 製材工場の原木在庫量の推移

・12月のトドマツ原木在庫量は前年同月を下回り、原木消費量は前年同月並みの見込み  
・12月のカラマツ原木在庫量は前年同月を大きく下回り、原木消費量は前年同月を若干下回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR7.10~12月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し  
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

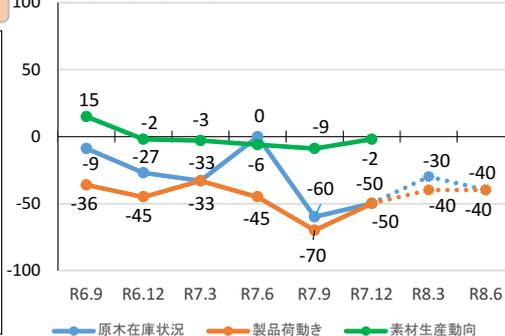
【トドマツ】

- 素材生産は、引き続き並みの見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

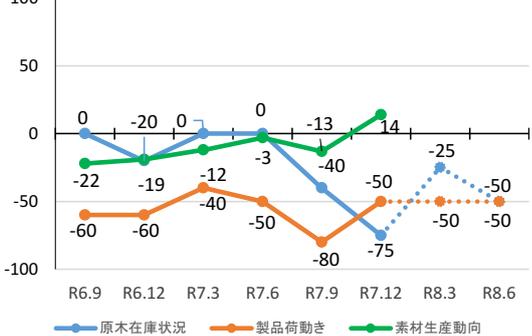
【カラマツ】

- 素材生産は、順調の見通しに回復
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きも前年を大きく下回る見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)



函館地区 (渡島・檜山・後志)

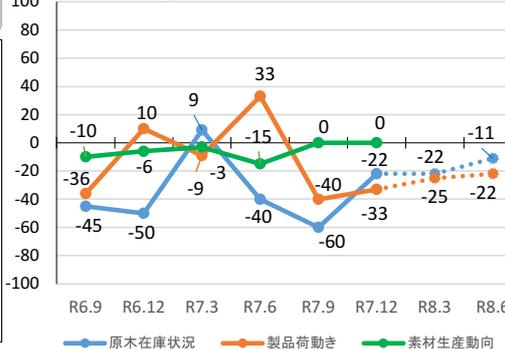
【トドマツ】

- 素材生産は、引き続き並みの見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

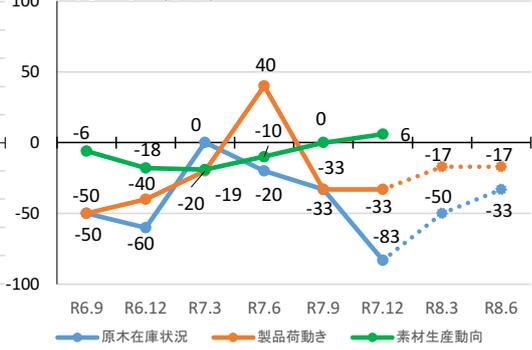
【カラマツ】

- 素材生産は、引き続き並みの見通し
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)



旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

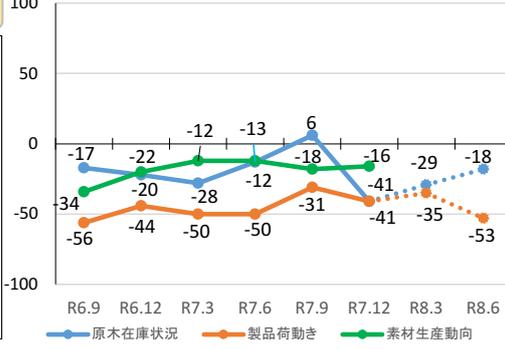
【トドマツ】

- 素材生産は、引き続き不調の見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

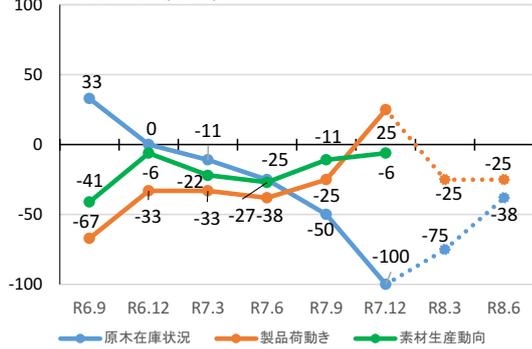
【カラマツ】

- 素材生産は、並みの見通しに回復
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きも前年を若干下回る見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)



北見地区 (オホーツク)

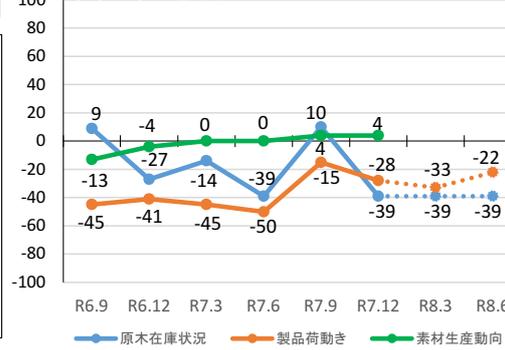
【トドマツ】

- 素材生産は、引き続き並みの見通し
- 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きも前年を下回る見通し

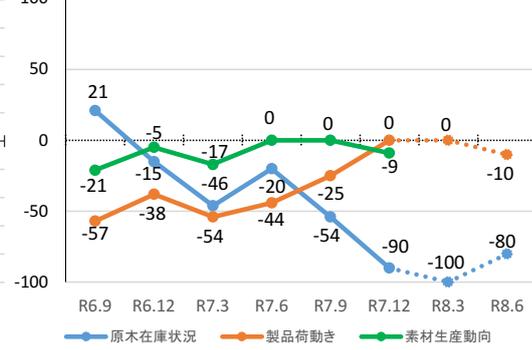
【カラマツ】

- 素材生産は、不調の見通しに下降
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年並みの見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

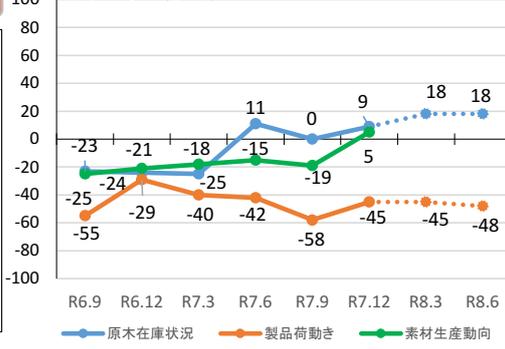
【トドマツ】

- 素材生産は、並みの見通しに回復
- 原木在庫は前年を上回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】

- 素材生産は、並みの見通しに回復
- 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)

